

## 形成外科学

### 【目的】

形成外科学は、外表の形態にかかわる先天性異常や熱傷・外傷・悪性腫瘍等による組織の欠損、変形及び機能損傷に対して、主として外科的手段で形態的・機能的な回復・復元をはかり、患者の心身両面での社会復帰を支援する学問である。

形成外科は基本領域19診療科の一つとなったが、その普及、認知度には全国的な地域格差がある。そして広島県は全国的に形成外科があまり普及しているとは言い難く、形成外科の医療現場を垣間見るには、本実習はまたとない機会となる。

なお、平成29年度から新設された国際リンパ浮腫センターの形成外科医とも連携を取り、外来・手術見学、講義など、国際的に最先端の医療知見に触れる機会も設ける。

### 【実習の実際】

#### 外来実習

- 1) 形成外科の対象疾患患者について理解する。
- 2) 写真撮影や各種計測・記録や評価法など、形成外科的診察法の基本につき理解する。
- 3) 外来で行っている形成外科の治療法(創処理や術後創処置、抜糸・抜糸後の後治療、組織拡張器の拡張)、各種創傷に応じた外用剤・被覆材の選択、創面の評価方法などを理解する。

#### 病棟実習

- 1) 形成外科入院患者の術前準備、術後管理方法について学ぶ。
- 2) 植皮術や有茎皮弁術、再建手術後、幼小児患者など、形成外科特有の入院患者の術後管理、注意点について学ぶ。
- 3) 症例検討会、病棟総回診で形成外科の各種疾患に対する診断、治療方法、形成外科と外科系他科との関わりについて学ぶ。

#### 手術室実習

- 1) 手術に実際に入り、形成外科手術への参加を通じて理解を深める。
- 2) 基本的な外科手術手技(特に皮膚縫合手技・縫合材料の選択など)の理解と確実な修得を目指す。
- 3) 形成外科疾患に対する各種の手術的治療方法(形成外科的皮膚縫合法、植皮や皮弁術、人工乳房や組織拡張器、マイクロサージャリー、リンパ管静脈吻合術・リンパ管移植術、他科との共同手術・チーム医療)について学ぶ。

### 【評価】

学生の評価は以下のように行う。

| 評価項目             | 配点 |
|------------------|----|
| 外来実習時の行動内容       | 30 |
| 手術実習時の行動内容       | 30 |
| 手術実習時の行動内容       | 10 |
| 提出レポートへの取り組み, 内容 | 10 |
| 教授試問             | 20 |

### 週間スケジュール

|   | 8:30              | 9:00                   | 12:00 | 13:00                   | 16:00/17:00      |
|---|-------------------|------------------------|-------|-------------------------|------------------|
| 月 | オリエンテーション(医局)     | 手術実習(OP室)              | 昼食    | 手術実習(OP室)               | 症例検討会(医局)        |
| 火 |                   | 外来実習(外来)               | 昼食    | 手術実習(OP室)主に乳房再建         |                  |
| 水 | 総回診(7東)           | 病棟実習(7東)または教授による講義(医局) | 昼食    | 手術実習(OP室)主に頭頸部再建        |                  |
| 木 | 7:30<br>文献抄読会(医局) | 外来実習(外来)               | 昼食    | リンパ浮腫外来見学(外来)           | リンパ浮腫についての講義(外来) |
| 金 |                   | 外来実習(外来)               | 昼食    | 手術実習(OP室)または教授による講義(医局) |                  |

(医局):臨床管理棟 2階 形成外科医局, (研)臨床研究棟

(外来):外来棟2階形成外科外来(16, 20・21診)

(7東):7階東病棟

(OP):中央手術室

※その他, 空き時間などを利用して適宜講義, 実習を行う。

### 担当教員

横田 和典 (教授)

永松 将吾 (助教)